



地域リハビリテーションたより

～埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンター活動報告～

利根圏域版 No.6 令和4年4月発行



発行元:
地域リハビリテーション・ケアサポートセンター 行田総合病院(利根圏域担当)
〒361-0056 埼玉県行田市持田376
TEL : 048-552-1111 FAX:048-552-1116 E-mail reha@gyoda-hp.or.jp



埼玉県ホームページ
地域リハ支援体制

【介護予防サポーター養成講座】

内容例 一般的な流れ（全8回コース）

	内 容
1	開講式・オリエンテーション 事業説明・介護予防の必要性と効果
2	介護予防の効果 準備運動・体力測定
3	実技・講義 運動と認知症について
4	実技・講義 グループワーク
5	実技・講義 地域で活動するために
6	実技・講義 グループワーク
7	実技・講義・流れの実践 体力測定
8	運動実技・グループワーク 閉講式



●Topic

前後期各全8回開催しました。
感染対策として例年では120分でしたが、今年度は90分で行いました。
宿題で自宅でも体操の復習ができるような工夫や、8回が終わった後にR3年度養成講座修了者向けのフォローアップ講座を開催し補いました。
(杉戸町)

令和3年度 介護サポーター養成講座実績

市町村名	開催実績	協力医療機関等	お問い合わせ先
蓮田市	10回	中田病院 新久喜総合病院 済生会栗橋病院	蓮田市 在宅医療介護課 地域包括支援センター担当 TEL : 048-768-3111 (内線198)
羽生市	7回	介護老人保健施設 カノープス・羽生 介護老人保健施設 あいの郷	羽生市 介護福祉課担当 TEL : 048-561-1121
杉戸町	16回	杉戸クリニック 春日部厚生病院	杉戸町 高齢介護課地域包括ケア担当 TEL : 0480-33-1111 (内線319)

【通いの場 フォローアップ】



感染症に対する不安で参加人数が減っているグループもみられるようになっていますが、その中でも感染対策に留意しながら実施し、通いの場を安全に運営することで、皆がまた“戻ってくることのできる居場所”を残したいという住民の方の声を聞くことができました。

また今年立ち上げを希望しているグループのサポーターが他グループに見学、体験をして住民の皆さんの横のつながりがみえてきました。（杉戸町）

【サポーターフォローアップ講座】

●杉戸町全体サポーターフォローアップ講座について

- 1、体操の確認
- 2、県発行の「イキイキ生活のつづけかた」の使い方
- 3、生活支援について

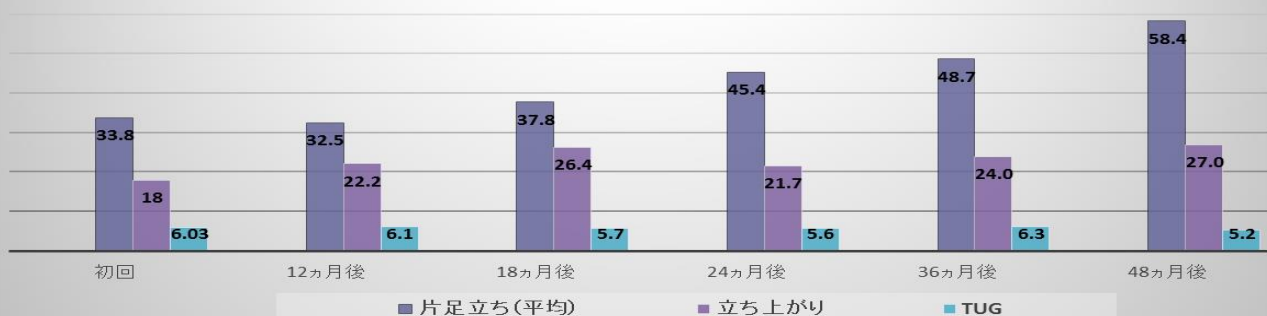
各グループの心配な点、工夫している点などの共有

各グループ代表者2名までと人数制限を設け参加してもらう（開催時間は120分）

◎ポイント

- ・感染不安で来れなくなった方に対し「イキイキ生活のつづけかた」でセルフチェック
- ・グループに参加できなくても自宅での体操を習慣化する重要性の再確認
- ・サポーターの負担軽減のために運動の声掛けを当番制
- ・サポーターがマニュアル作成し取り組む
- ・参加できないときのために自宅での自主トレメニュー表を作成し、チェック

グループ体力測定結果の一例（秒）



自主グループでは、毎週1回と重りを使った体操（約1時間半）を実施しています。

4年実施しても毎年片足立ちや立ち上がり、TUGの数値の改善が見られます。

●体操に参加されている方の感想例

- ・階段の上がり下りが楽になった
- ・靴下が立った状態で履けるようになった
- ・友達ができた
- ・気がちが明るくなった
- ・畑の作業が楽にできるようになった
- ・おしゃべりができて楽しい
- ・食事がおいしくなった など

【地域ケア会議】



●地域ケア会議とは

地域の実情に沿って、地域包括ケア実現のために課題を把握し、解決するための手段を導き出す会議になります。

助言者は市町によって異なりますが、医師や歯科医師、薬剤師、栄養士、リハビリ療法士などがケアプランをもとに助言を行い、自立支援としてのケアプラン立案にするためにはどうしたらよいかを一緒に考える会議になります。

●令和3年度振り返り・御礼

令和3年も昨年と同様、コロナウイルスの関係で、サポーター養成講座や通いの場の活動、地域ケア会議の開催などが中止となる市町が多かった印象です。その中でも通いの場などでは市町村職員や療法士の感染対策などの指導を行うことにより、昨年よりも住民の方の意欲や行動力などが回復してきたグループが増えてきたように思います。

今回は利根圏域で独自の取り組みをしている杉戸町さんに注目し、地域リハたよりを作成させていただきました。ご協力いただいた杉戸町の担当療法士に深く感謝申し上げます。

平成26年から約7年間利根圏域のサポートセンターとして行田総合病院が従事させていただいておりましたが、今年度でサポートセンターとしての業務は終了することになりました。今後は行田市中心になりますが、一協力医療機関として引き続きお手伝いさせて頂ければと思っています。

2022年度からは加須市にあります、中田病院さんが引き継ぐことになっております。引き続き地域リハビリテーションにご理解・ご協力のほど宜しくお願いいたします。

講師の派遣についてお考えの方は、地域リハビリテーション・ケアサポートセンター
行田総合病院 またはお近くの地域包括支援センターまでお問い合わせください。

派遣実績

●介護ボランティア養成講座等

→ 33件（療法士延人数60人）
羽生市、蓮田市、羽生市

●自主グループ支援等

→ 82件（療法士延人数88人）
羽生市、蓮田市、杉戸町

●地域ケア会議・事例検討会等

→ 45件（療法士延人数81人）
行田市、羽生市、加須市、蓮田市、
杉戸町、久喜市、宮代町

●その他の会議、研修会等

→ 4件（療法士延人数4人）
杉戸町

【お問い合わせ】

●利根圏域担当

地域リハビリテーション・ケアサポート
センター 行田総合病院
担当：寒河江

〒361-0056 埼玉県行田市持田376

TEL：048-552-1111

FAX：048-552-7090

E-mail reha@gyoda-hp.or.jp

●担当圏域（7市2町）

行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、
幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町

●協力医療機関等：31ヶ所

（病院・診療所21、介護老人保健施設10）